

○ 葉山町公共施設等総合管理計画のパブリックコメントの実施結果について

実施期間：平成29年1月30日から平成29年2月28日

1団体2名10件

	ページ	いただいた意見	町の考え方
1	8	葉山町の財政状況は、「自主財源が71%で社会経済情勢の変化を受けやすい。」との分析し、公共施設等の使用料・手数料の見直しの検討を挙げているが、企業城下町といわれるような他の自治体と比較して、葉山町の財政状況は安定していると思われるし、健全化指標による財政分析でも、厳しい財政状況といえるのか疑問である。	少子高齢化による町税収入の減少や経常収支比率が高い水準で推移していることから、厳しい財政状況であると言えます。また、アンケートの結果から公共施設料金の考え方も費用負担に肯定的であることから、使用料・手数料の見直しについて検討することを記載しております。
2	15	公共施設数量の同類型町村との比較で、一人当たりの延べ床面積は、小学校は多く、その他の施設は少ないという状況のもとで、総合的管理計画の立案が求められます。	将来的な人口減少を勘案し、公共施設としてのサービスを維持・充実させながら、財政面からも負担の平準化を図りつつ維持管理を行っていく必要があると認識しており、町としての指針とするべく葉山町公共施設等総合管理計画を策定します。
3	37	施設の維持管理に関しては、利用者サービスが最優先されるべきで、安易な民間活力の導入は慎重であるべき。	いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
4	32	「公共施設等に関する町民意識調査」で「公共施設の管理運営への町の関与のあり方」でなぜ「福祉文化会館」が外されていたのか不明。	「一般の人に開放されてはませんが葉山町がその事務や事業をするための施設や、利用者を限定した施設」を対象として質問しておりますので、福祉文化会館は除外しております。
5	37～39	「公共施設等の管理に関する基本的な考え方」によると、長寿命化を基本としつつ、それぞれの「施設の評価と対策」で、「廃止」、「民間委託」、「類似機能共用化(集約・統合)」、「広域連携」、「複合化・多機能化」に分類して、対策としているのみで、町の将来像を見通すものとなっていないのは、「計画」とは言えないのではないか。	具体的な計画は来年度以降策定する実施計画で検討いたします。
6	41～42	「公共施設の基本方針」でも、更新に際しての方針は、「長寿命化」や「民間移管の可能性の検討」がほとんどであり、町はどんどん、縮んでいくようである。将来のまちづくりの姿が全く見えてこない。葉山町独自の、政策的な施設の新設等もあってよいのではないか。	いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
7	42	「公共施設の基本方針」でクリーンセンターについて、「廃炉」の言葉が出てこない。	ごみ焼却炉の廃止・解体を含み「施設全体の再構成を検討する」として記載しております。
8	43	「インフラの基本方針」では、「灯台」は関係者と協議のうえ、廃止や変更の方向性を模索すべきである。	関係者と協議を行ったうえで、基本方針として記載しておりますが、今後の参考とさせていただきます。
9	-	本計画は、32年間という長期にわたるもので、当然のことながら、町の将来像が見えるものであるべきと考える。計画が決定してからではなく、住民のニーズや声の反映が無ければならない。協働のまちづくりを目指す当町においては、策定委員会にも、町民の委員の参加が望ましい。	いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
10	-	今回の、計画案を拝見した中では、正直何がしたかったのかが見えていない状況ではないかと思えます。既に判りきっていることを再確認出来た程度で、この計画案から、今後の実施計画が策定できるのか、些か疑問です。まずは、根本的な話として…「公共施設等総合管理計画」を策定することと平行して、行政サイドとして考えられる今後の公共施設ビジョンと称して、いくつかの具体的な実施パターンを示すべきだと思います。特に、長寿命化、大規模改修、面積縮減だけでは、財源不足を補うことは難しいとされる現状を、更に重く受け止めたうえで、現実的なプランを策定する必要があり、町の人口の推移は、ほぼ変わらないとしての、再配置及び統廃合を軸にした計画を立てるべきではないかと思えます。どこかのタイミングで、大きな舵を切らないといけない時期が、正に今だと思いますので、よろしくお願ひします。	具体的な計画は来年度以降策定する実施計画で検討いたします。